

令和4年度 若狭町立野木小学校スクールプラン

児童の実態

- ・何事にも真面目に取り組む
- ・相手の気持ちを考えて行動できる
- ・温かな心を持ち周りにもやさしい

保護者や教師の願い

- ・確かな学力をつけてほしい
- ・豊かな心を持ってほしい
- ・たくましい心と体を作ってほしい

【若狭町教育大綱・教育振興基本計画の基本理念】
自ら学び考える主体性と多様な人々との協働により、「未来を拓く力」を培う自立と共生の心と、ふるさとへの誇りと愛着心を持ち、グローバルに活躍できる人材を育成する。

【学校教育目標】
自ら問い 自ら考え 自ら行動する

【めざす学校像】
笑顔あふれる学校
安心安全な学校
地域に愛される学校

【めざす教職員像】
学び続ける教職員
プラスαのある教職員
信頼される教職員

【研究主題】自ら問い自ら考え自ら表現する児童の育成
～主体的・対話的に学びを深める授業づくりを通して～

【めざす児童像】

自分の考えを持つ人

自分や人を大切にする人

チャレンジする人

【重点目標】

自分の考えを持ち、伝える力を育てる

自己肯定感と自己有用感を高める

目標に向かって粘り強く取り組む力を育てる

【具体的取組】

- ・問い(はてな)を生み出し、自分なりの考えが持てるような学習課題の設定と提示を工夫する。
- ・「書く・話す・聴く」スキルの向上を図り、対話的な学習を充実させる。
- ・新しい問い(はてな)が生まれ、次の学びにつながるような振り返りを充実させる。
- ・ICT機器を有効活用し、思考力・表現力の向上を図る。

- ・人権教育の日常化を図り、自己や他者をありのままに受け入れる心情を育てる。
- ・道徳教育を充実させ、自ら判断し行動する意欲を育てる。
- ・児童との平素からの対話(会話、日記等)を重視し、いじめ・不登校の未然防止に努める。
- ・基本的な生活習慣の確立のために家庭と連携し、自ら心身を大切にする意識を育てる。

- ・個人目標を設定し、目標に向かって努力する意欲を育てる。(マラソン、縄跳び、一輪車等)
- ・読書カードを工夫し、様々なジャンルの本をたくさん読むようにして読解力の向上を図る。
- ・児童が創意工夫しながら主体的に活動する場面を多く設定する。(学級活動、委員会、縦割り等)
- ・レジリエンス(回復力、しなやかさ)を高める働きかけを行う。

【数値目標】

- ・自分の考えを進んで発表する(90%)
- ・人の考えをしっかりと聴く(90%)
- ・振り返りで「はてな」をたくさん思いつく(85%)
- ・ICT機器を有効活用する(90%)

- ・自分や他人を大切にする(90%)
- ・学校が楽しい(90%)
- ・安心して学校生活が送れる(90%)
- ・「早寝早起き朝ごはん」ができる(85%)

- ・目標を持ち体力づくりに挑戦する(90%)
- ・学校や家庭でたくさん本を読む(90%)
- ・自分で考えて行動したり工夫したりする(80%)
- ・つらいことがあってもくじけない(90%)

【家庭・地域との連携】 信頼される学校づくり
 ・保護者が相談しやすい雰囲気づくり ・地域と共にする学習活動や地域との体験活動の推進 ・学校だよりやSNS等による積極的な情報発信

【業務改善の取組】
 ・勤務時間に関する個人目標の設定 ・教職員間の連携と情報共有の促進 ・休暇を取りやすい職場環境作り